

感染症情報 7月28日～8月3日

府下小児科185医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	697例(堺市	23例)
②ヘルパンギーナ	515例(堺市	39例)
③伝染性紅斑	444例(堺市	40例)
④溶連菌感染症	223例(堺市	26例)
⑤RSウイルス感染症	164例(堺市	5例)

府下291医療機関(堺市25)から

インフルエンザ	69例(堺市	1例)
---------	--------	-----

報告数による順位。前週比7.9%増の2,364件。感染性胃腸炎は府下で前週から3%増、堺市で前週29例→今回23例。ヘルパンギーナが府下で29%増、堺市で前週23例→今回39例であった。伝染性紅斑が府下で3%増、堺市で前週38例→今回40例。溶連菌感染症が府下で7%増、堺市で前週28例→今回26例。RSウイルス感染症が府下で67%増、堺市で前週3例→今回5例。

インフルエンザが府下で前週26例→今回69例は1.7倍。堺市で前週2例→今回1例であった。全数把握疾患の百日咳は大阪府で55例→81例は47%増、堺市は4例→2例であった。今年入ってからの府内の累積報告数は2,350例となった。

府下291医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症	1,176例(堺市	127例)	
大阪府定点	4.04	堺市定点	5.08

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で23%増(6週連続増)、定点当たり3.29→4.04。堺市は87例→127例で46%増、定点当たり4.48→5.08は大阪府ブロック別でワースト2位であった。

府下291医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症	10,565例(堺市 1,028例)		
大阪府定点	36.31	堺市定点	41.12

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より11%増、定点当たり32.81→36.31、堺市で936例→1,028例は前回より10%増、定点当たり37.44→41.12であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。